

第2回大阪大学ミュージアム・リンクス講座
大阪文化の多様性と創造性をさぐる—地域の歴史に即して—
The University of Osaka – Museum Links Lecture Series, No. 2
Exploring the Diversity and Creativity of Osaka Culture: Local History Perspectives

参加
無料

シンポジウム 大坂の
出版文化と芸術
@ 難波神社

Publishing and the Arts in Osaka at Namba Shrine

会場 難波神社 大阪府大阪市中央区博労町4丁目1番3号

日時 2026年2月28日(土) 13:00~16:00

30分前より受付開始

定員 80名 事前申込制・先着順

参加申込



大阪大学「知の広場」のユーザー登録後、お申し込みください
<https://open-univ.osaka-u.ac.jp/>

2026年1月9日(金)より受付開始

(お預かりした個人情報は適切に管理し、本事業以外には使用いたしません。)



主催 大阪大学ミュージアム・リンクス

(大阪大学総合学術博物館・大阪大学適塾記念センター・大阪大学アーカイブズ)

長谷川貞信「心斎橋通初壳之景(写真浪花百景)」部分 国立国会図書館所蔵
一珠斎国員「三大橋(石和板浪花百景)」部分 大阪市立中央図書館所蔵

プログラム・登壇者

【主催者挨拶 5分】

船越 幹央（大阪大学ミュージアム・リンクス 教授）

【基調講演 40分】

「フランスに伝わった大坂の出版物」



クリストフ・マルケ

（フランス国立極東学院 京都支部代表 教授）

1965年生まれ。フランス出身。専攻は日本近世・近代の美術史。日仏会館日本研究センター所長。フランス国立極東学院学院長を経て、同学院京都支部代表、京都大学人文科学研究所特任教授。2024年フランスで、『Cent vues de Naniwa. Ōsaka au XI^e siècle』（浪花百景・一九世紀の大坂）（éditions Picquier, 2024年）を出版。そのほか大津絵、広重、北斎に関する著書、江戸時代の絵入版本の翻訳など多数。

【報告 各20分】

1)「近世大坂の本屋商売と絵」



石橋 知之（神戸大学大学院人文学研究科 学術研究員）

1993年生まれ。兵庫県出身。神戸大学大学院人文学研究科修了。博士（文学）。関西学院大学・甲南大学非常勤講師などを兼務。専門は日本近世史。論文に「幕末大坂における本屋仲間と出版統制」など。

=====5分休憩=====

2)「大坂絵本流行の仕掛け—板元と類板と画題」



古明地 樹（香川高等専門学校 一般教育科 助教）

1991年生まれ。埼玉県出身。総合研究大学院大学文化科学研究科修了。博士（文学）。日本学術振興会 特別研究員（PD）を経て現職。専門は近世文学史。論文に「橋守国絵本の研究—柏原屋の絵本出版活動と橋守国のかわら版を軸に—」など。

3)「多色摺画譜のはじまり —大坂で生まれた『明朝紫硯』の世界」



波瀬山 祥子（大阪大学総合学術博物館・研究支援推進員）

1989年生まれ。熊本県出身。大阪大学大学院文学研究科修了。博士（文学）。嵯峨嵐山文華館学芸員を経て現職。専門は日本美術史。論文に「大岡春トと十八世紀上方狂歌壇との交流—鯛屋貞柳像を中心に—」など。

4)「石川屋和助板「浪花百景」の特徴 —諸本の比較を通じて」



曾田 めぐみ（東京藝術大学大学美術館 特任助教）

1987年生まれ。山口県出身。大阪大学大学院文学研究科修了。博士（文学）。日本学術振興会特別研究員（PD）、東京国立博物館アソシエイトフェローを経て現職。専門は日本美術史。共著に『原寸復刻「浪花百景」集成』（創元社、2020年）など。

=====10分休憩=====

【パネルディスカッション 40分】

開催趣旨

大阪大学ミュージアム・リンクスが開催する本講座は、大阪の地域ごとにテーマを設定し、その土地に根ざした文化の特質を多角的に探ることを目的としています。

第2回となる本年度は、近世から幕末にかけての出版文化の発展を国際的な文脈の中で再考します。江戸の版元・葛屋重三郎を描くNHK大河ドラマ『べらぼう』（2025年）でも注目される出版文化の時代、大坂もまた京都・江戸と並び、出版の一大拠点として重要な役割を果たしました。享保8年（1723）に結成された「本屋仲間」や、心斎橋筋に並んだ版元の数々は、大坂がいかに都市文化の情報発信地であったかを示しています。

出版文化の中心地であった博労町の難波神社を会場に大坂の出版物や浮世絵などの芸術作品が、どのような社会的背景のもとに制作・流通し民衆の間で受容されてきたのかを、歴史学、国文学、美術史などの観点から学際的に考察します。

参加申込



大阪大学「知の広場」のユーザー登録後、お申し込みください

<https://open-univ.osaka-u.ac.jp/>

（お預かりした個人情報は適切に管理し、本事業以外には使用いたしません。）

会場 アクセス

難波神社

大阪府大阪市中央区博労町4丁目1番3号



■ 大阪メトロ心斎橋駅3番出口、または本町駅13番出口より徒歩5分

■ お車の方は、阪神高速1号環状線信濃橋出口よりお越し下さい。

■ 駐車場（10台程度）あり（但し18:00まで）

問い合わせ

大阪大学総合学術博物館

TEL: 06-6850-6284 10時30分～16時30分

日・祝、年末年始（12月28日～1月4日）休館

※難波神社へのお問い合わせはお控えください